

## ゼミ II：宿題 6

村澤 康友

提出期限：2024 年 10 月 30 日正午

提出方法：My KONAN

- 木下 (1994, 3.1-3.3 節) を読み、内容を十分に理解した上で、以下の作業を行いなさい。
  - 論文の最終タイトルを決定しなさい。話題を絞りに絞ること。
  - 論文の目的、使用データ、分析手法、分析結果を書き出した上で、それらを説明する目標規定文を書きなさい。特に (1) 何を目標としてこの論文を書くのか (リサーチクエスチョン)、(2) そこで自分は何を主張するのか (メッセージ) を明確にし、一字一句を吟味して簡潔にまとめること。  
※リサーチクエスチョンは「規範的問題」でなく「実証的問題」とし、それに対する答をメッセージとする。またメッセージの 5 つの条件も確認すること。
- 野口 (2002, 第 7 章) をよく読んでから論文の骨子を以下の構成でまとめ、プレゼン資料として以下の 5 枚のスライドを作成し、PowerPoint 形式のファイルを MyKONAN で提出しなさい。
  - タイトル
  - 要旨 (目標規定文)
  - アウトライン (各章の見出し) ※浅野・矢内 (2018, 16~20 頁) も参照。
  - データ分析 (表・グラフで示す) ※データの出所を示すこと。他の文献の図表のコピペは不可。
  - 参考文献リスト (実際に参考にした先行研究のみ 1 点以上) ※文献情報 (著者名・論文タイトル・掲載誌・巻・号・ページ・出版年) を記載する。URL のコピペのみは不可。

### 参考文献

浅野正彦・矢内勇生 (2018) 『R による計量政治学』, オーム社。

木下是雄 (1994) 『レポートの組み立て方』, ちくま学芸文庫。

野口悠紀雄 (2002) 『「超」文章法』, 中公新書。

— 今週の格言 —

読書は豊かな人間を、議論は機転が利く人間を、執筆は正確な人間を作る。

— フランシス・ベーコン